持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは，2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）別ウィンドウで開くの後継として，2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された，2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され，地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省のホームページより引用）

株式会社 都 計は、SDGs の実現に取り組んでいます。

当社におけるＳＤＧs の取り組み

当社は、各種社会保険制度の完備や、健康診断の実施と診断結果に対する医療機関への診断奨励を行い、社員の健康維持・増進に努めています。

当社は、社員の技術力向上と技術の継承を推進するため、社内研修の実施や研修費補助を実施して、業務に必要な資格取得の推進や継続研鑽への支援を行っています。

このことにより、持続可能な社会の実現に向けたインフラストラクチャーの整備に貢献できると考えています。

当社は、社屋照明の LED 化、省エネ仕様のエアコンの入替えなどにより、エネルギー消費の抑制に取り組んでおります。今後は、ハイブリッド車などの導入により、Co2 の排出と化石燃料消費の抑制に努めてまいります。

また、文書の電子化によるペーパーレスの推進により、廃棄物の発生と森林伐採の抑制に貢献できると考えています。

	当社は、建設 DX 時代に対応するため、デジタル技術の活用を推進しています。 また、国が進めるi-Construction への対応も含め、品質（Q）、経済性（C）、納期（D）の最適化に取り組んでいます。 このことにより生産性が向上し、社員のモチベーションと有給休暇の取得率の向上に繋がると考えています。
	当社の主たる業務である”まちづくり”において、新潟市が目指す「市街地と田園・自然の多様な魅力が人をつなぐ多核連携都市」の実現に向けて、開発計画に係わる周辺地域や関連団体、企業と協力しながら、持続可能なまちづくりに貢献してまいります。

（様式第４号）

令和　６　年１０月　４日

ＳＤＧｓ達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

所　在　地：	新潟市中央区女池神明１丁目５番地 10
名　　称：	株式会社　都　計
代　表　者：	佐藤秀司
登録年月日：	令和４年９月 28 日

新潟県ＳＤＧｓ推進建設企業登録制度実施要綱第８条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

三側面	具体的取組	2030 年に向けた指標	関連するゴール
環境	・省エネ仕様のエアコンの入替え ・文書の電子化によるペーパーレス化（給与明細用紙を電子交付に変更） ・社有車の電動化による Co2 削減（２台導入）	社有車の電動化（HV）の割合の向上 【登録時】　0%（2022 年度） 【現状値】　20%（2024 年度） 【目標値】　40%	7 １２
社会	業務に必要な資格取得のための支援（研修費補助、社内研修の実施などの継続研鑽への支援）	技術士、RCCM、測量士、区画整理士、再開発プランナー、補償業務管理士の取得推進 【登録時】 21 人（2022 年度） 【現状値】 22 人（2024 年度） 【目標値】 26 人	4 9
経済	有給休暇取得日数の管理、長時間労働の抑止（時間外労働時間：平均 60 時間/人から 57 時間/人に減少）	有給休暇取得率の向上 【登録時】 35%（2022 年度） 【現状値】 75%（2024 年度） 【目標値】 70%	8
その他	デジタル技術を活用したＱＣＤの最適化（３Ｄ処理による業務時間の短縮及び、精度の向上）	3D 対象業務件数の増加 【登録時】　２件（2022 年度） 【現状値】　11 件（2024 年度） 【目標値】　10 件	8